

第4回 山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用等検討委員会  
受入環境調査検討部会次第

日 時：平成24年1月20日（金）15時00分～

場 所：田川市役所1階大会議室

1 開会

2 部会長挨拶

3 議題

(1) 公園整備の方針について

ア ビジターセンターの機能について

（海外から多くの来観者を受け入れる視点、筑豊地域の「炭坑文化に係る教育観光」の  
中心地としての視点）

イ 市民の交流の場としての視点

(2) 交通誘導の考え方

案内看板設置の際の課題

(3) その他

4 閉会

## (1) 公園整備の方針について

### ア ビジターセンターの機能について

(海外からの多くの来観者を受け入れる視点、筑豊地域の「炭坑文化に係る教育観光」の中心地としての視点)

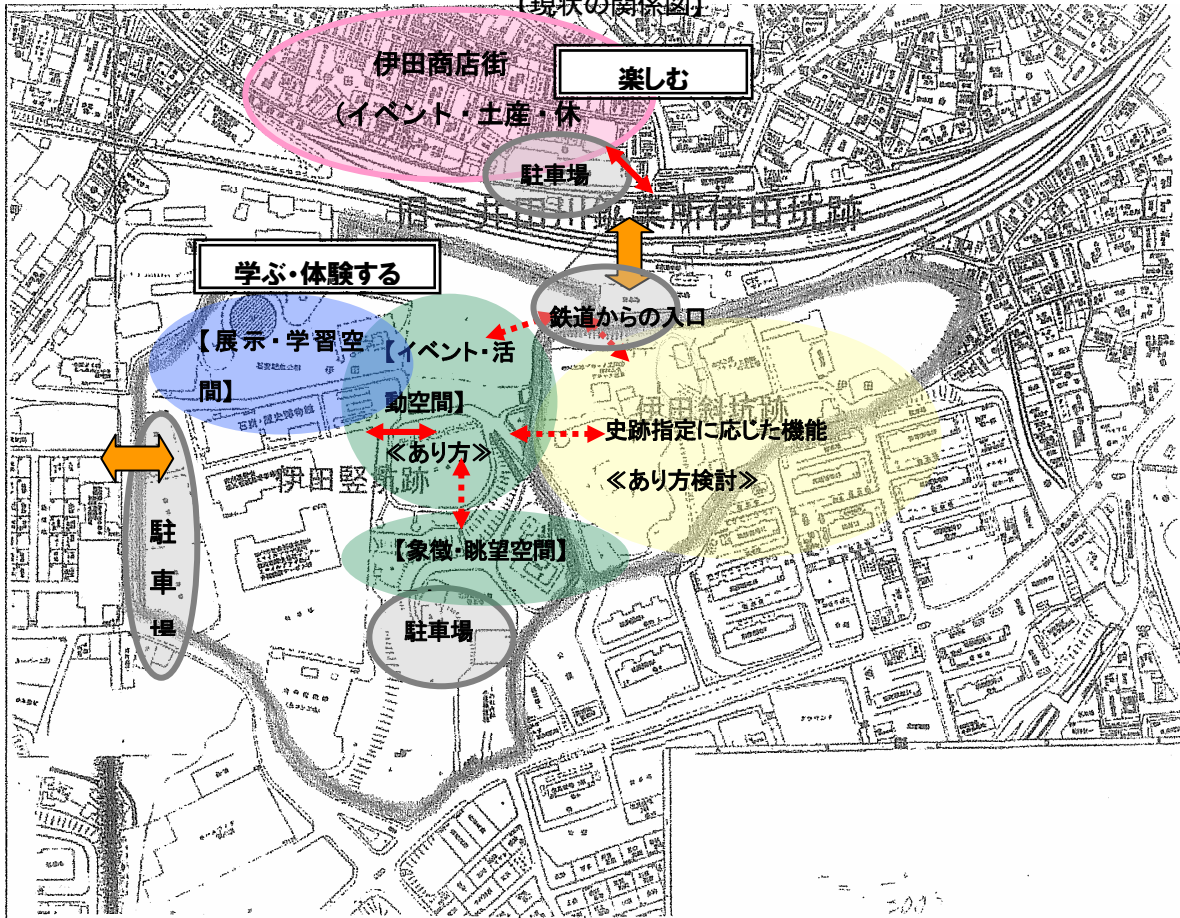
#### 求められる機能

- インタープリテーション機能
  - ・ガイドによる説明、動画による説明
  - ・文献や展示物などによる説明・学習
  - ・体験型メニューによる説明・学習
  
- 域内関連遺産等の紹介機能
  - ・産業遺産 二本煙突や坑道
  - ・産業関連遺産 商店街、三井寺（百円坂クラブ）、旧三井本部事務所
  - ・教育観光ツアー 域内の教育観光ツアー案内（バスツアー等）
  
- 物販等機能
  - ・ミュージアムショップ
  - ・休憩施設
  - ・飲食施設
  
- 研究・企画機能
  - ・山本作兵衛氏の作品等の研究
  - ・展示・体験。図書等の企画開発
  - ・ガイド養成
  
- 保存機能
  - ・山本作兵衛氏の作品等の保存

以上の機能を強化するためには

- 石炭・歴史博物館の拡充・整備
  - ・説明、学習、物販、保存の場をどこに、どのように整備拡充させるか。
  - ・説明、学習農地、体験のための空間をいかに確保するか。(史跡指定の動きに応じて)
  
- 来訪者にとっての交通アクセスの利便性の向上
  - ・鉄道アクセス
  - ・バスでのアクセス
  - ・駐車場の拡張整備
- 石炭記念公園にふさわしい
  - ・新規建物整備に当たっての眺望の確保、建物外観や素材への配慮  
(公園の整備計画において配慮すべき事項の規程の整備など)
  - ・周辺を含めた景観を阻害する建物等の抑制等  
(景観計画の策定等による方針や規制誘導灯の位置づけなど)
- 各施設整備・活用の手法
  - ・財源・体制  
(指定管理者制度等の活用など)
  
- イ 市民の交流の場としての視点
  - 交流空間の形成
    - ・地域の方々の教育、ガイドの育成  
地域の財産としての醸成(小中学生への教育)  
炭坑殉職者の慰霊
    - ・市民・来訪者の交流イベント  
(TAGAWA コールマインフェスティバル)
    - ・日常的な活用  
遊具ゾーン、スケートボードパーク、ライブイベント(ステージ活用)
  
  - 空間形成の体制作り
    - ・公園づくりから、維持管理、活動への展開までを担う市民の体制づくり
  
  - 周辺地域とのつながり
    - ・田川地域、筑豊地域の観光資源の展示や紹介、関係者との連携づくり

【現状の関係図】



## (2) 交通誘導の考え方

### 経 過

- ・自動車による来訪者の案内について  
案内看板の設置（19枚を予定、国道201号の案内の補完）
- ・鉄道・バス  
西鉄と「日の出町口」バス停の名称変更について協議中  
JR九州田川伊田駅の南口機能の強化について協議中
- ・歩行者  
近隣の案内板については、校区となる中央中学校の生徒が、案内看板を制作中

### ○ 自動車

- ・市内幹線道路への案内サインの掲示

整備が必要と考えられる場所

- ・国道201号線 筑豊烏尾トンネル出口付近、香春町境界付近 国交
- ・県道22号 伊田大橋付近（国道322号交差点） 県
- ・白鳥工業団地循環線（城山団地付近国道322号交差点） 県
- ・県道22号田川直方バイパス（国道200号直方市下境交差付近） 国交
- ・サインの書き換え（石炭記念公園表記の書き換え）

国内の世界文化遺産の事例からも統一ロゴの貼付でよりわかりやすい案内になると考えられる。

### ○ 歩行者

- ・観光案内板の再整備

田川後藤寺駅、田川伊田駅の観光案内板の再検討、  
博物館入口に案内板の設置を予定

### ○ 鉄道・バス

- ・連携取り組み（JR九州、平成筑豊鉄道、西鉄、旅行者、観光協会等）
- ・バス（福岡特急線）の延伸、コミュニティーバスの路線強化

### ○ 標識デザイン

- ・MOWロゴ、石炭記念公園、記憶遺産等のロゴの使用

### ○ 案内体制づくり

- ・案内チラシの作成や、商店街タイアップ特典パンフの作成  
（西鉄タイアップキャンペーン検討中）

参考事例（熊野古道の案内標識）

3県にまたがるため、統一ロゴで案内

世界遺産登録を受けた「紀伊山地の霊場と参詣道」にかかる案内標識については、和歌山県、三重県、奈良県の3県で定めた共通ピクトグラムを使用することや表示情報を整理し、旅行者の理解の増進を図ることとしている。



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマーク




従前の案内標識例

直近の整備事例

世界遺産登録地域（熊野古道）



統一したデザインの案内標識




案内標識の設置

防護柵の設置

歩道の整備

珪藻土壁の補修

差石防護柵の設置

案内標識の設置

内標識の設置・歩道の整備

防護柵・案内標識の設置

ログフェンスの設置

世界遺産 青岸渡寺 33Km

The World Heritage Saigantōji Temple 33Km

熊野那智大社 33Km

Kumano Nachi Shrine 33Km

熊野古道 02Km

Kumano Kodo Daimonzeke